

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career DevelopmentⅢ	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり					
		授業形態	演習								
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	前期					
		単位	2		曜日・時間	水曜日2限					
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。										
目的 科目概要	グループワークや個人ワークでの協調性や主体性を身につけ、社会人としての基盤を整える。										
到達目標	①就職活動が活発になり、意欲的に取り組むことができる ②就職に向けて社会人として必要な知識とスキルを身につける ③卒業に向けてや社会人としての準備が整えられるようになる										
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題										
教科書	事前事後 学習と その内容 自身の時間管理・体調管理を整えて授業に臨みましょう。 グループワークでは自身の発表を進んで出来るように準備をしておきましょう。										
教材							iPad・筆記用具・クリアファイル				
特記事項											

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	インターネットマナー	インターネットを学び、ITリテラシーを再度確認をする、自己分析をする
2	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーションを通して自分の意見を共有する 他者の意見を取り入れて考える力を身につける
3	①就職講座	就職活動に向けて、学校で守らなければいけないルール
4	②就職講座	社会人基礎力
5	特別授業	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
6	ベルリンピックについて	ベルリンピックの作戦をクラス会議で行い、チームメンバーとしての役割を知りクラスマネジメントを行う
7	中間試験	中間試験(1-6回目のまとめ)
8	③就職講座	社会人基礎力
9	④就職講座	社会人基礎力
10	⑤就職講座	社会人基礎力
11	コンテスト対策	コンテストに向けて感性を磨き、オリジナリティのある作品が作れるようにする
12	コンテスト対策	コンテストに向けて感性を磨き、オリジナリティのある作品が作れるようにする
13	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇に向けて準備しておきたい項目を理解する 夏休みの課題について
14	定期試験	中間試験(9-14回目のまとめ)※夏休み課題に関連したもので設定
15	特別授業	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる

科目名 (英)	ブランド研究II Brand research	年次	2	実務経験	担当	門脇 真由理
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	MAC で6年間美容部員として勤務後、フリーのメイクアップアーティストとして、様々な現場を経験し授業に活かす。					
目的 科目概要	デパートコスメブランドの歴史、コンセプト、広告ビジュアルを研究し、各ブランドの特徴を理解する。 学んだ内容をもとにブランドイメージに合わせたメイクを実践し、実際のタッチアップを想定したプレゼンテーションを行う。					
到達目標	デパートコスメブランドの歴史、コンセプト、広告イメージを理解し、ブランドの特徴や人気アイテムについて説明できるようになる。 また、ブランドの世界観やイメージに合わせたメイクを実践し、実際のタッチアップを想定したメイク提案とプレゼンテーションができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 技術試験 ■ 提出課題					
教科書						
教材	学校教材	事前事後 学習と その内容	授業で学んだブランドの特徴やメイクのポイントを振り返り、ブランドイメージとメイクの関係について理解を深める。また、プレゼンテーション内容やメイク提案を整理し、知識の定着を図る。			
特記事項	iPadを必ず持ってきてください					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション 相モデルフルメイク	授業概要説明、自己紹介、アンケート 好きなブランドをイメージしたメイクを相モデルで実施
2	国産ブランド商品紹介&タッチアップ	資生堂、KOSE、花王etc...
3	メイクブランド商品紹介&タッチアップ	MAC、shu uemura、NARS、ADDICTION etc...
4	ラグジュアリーブランド商品紹介&タッチアップ	Dior、CHANEL、PRADA etc...
5	モード系ブランド商品紹介&タッチアップ	YSL、GIVENCHY、TOM FORD etc...
6	クラシック系ブランド商品紹介&タッチアップ	Estée Lauder、LANCÔME、GUERLAIN
7	中間試験	相モデルによる実技試験
8	ブランドイメージ別メイク① (落とし込み)	広告メイクを日常使いにアレンジ
9	ブランドイメージ別メイク② (落とし込み)	広告メイクを日常使いにアレンジ
10	ブランドイメージ別メイク③ (落とし込み)	広告メイクを日常使いにアレンジ
11	ブランドイメージ別メイク① (似合わせ)	カウンセリングしてブランドイメージに合わせた似合わせメイク
12	ブランドイメージ別メイク② (似合わせ)	カウンセリングしてブランドイメージに合わせた似合わせメイク
13	ブランドイメージ別メイク③ (似合わせ)	カウンセリングしてブランドイメージに合わせた似合わせメイク
14	定期試験対策	相モデルによる実技対策
15	定期試験	振り返り・相モデルによる実技試験

科目名 (英)	接客マナー Customer service manner	年次	2	実務経験	担当	石田智子
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	水曜1・2限
講師紹介	百貨店などさまざまな接客サービスの現場を経験、専門学校講師として「おもてなし」「コミュニケーション」の講義を担当。接客サービスの現場ですぐに役立つ「サービス接客検定」の内容を現場経験を交えて講義を行う。検定合格に向けて、効果的な学び方を用いて授業を行うので積極的に参加すること。					
目的 科目概要	社会人に求められる、一般常識やマナーについての基礎知識を「サービス接客検定3級」テキストで学び、人間力を高め、お客さまやチームメイトからも信頼、指名される接客能力を身につける。					
到達目標	サービス接客検定3級に合格を目指す。 社会人としてのビジネスのマナー、販売員としての基礎知識学び、事例問題を解くことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書	サービス接客検定3級テキスト			事前事後 学習と その内容	サービス接客3級過去問題は、授業内だけでなく積極的に取り組むこと	
教材						
特記事項	筆記用具一式・テキスト・iPad持参					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション I サービススタッフの資質	科目オリエンテーション・検定概要・テキスト 必要とされる要件
2	I サービススタッフの資質・II 専門知識	テキスト 従業要件・サービス知識
3	II 専門知識・III 一般知識・IV 対人技能	テキスト 従業知識・社会常識・人間関係
4	IV 対人技能	テキスト 接客知識・話し方①
5	IV 対人技能	テキスト 話し方②
6	V 実務技能	テキスト 問題処理・環境整備
7	V 実務技能	金品管理 社交業務
8	中間試験	中間試験実施
9	ユニバーサルサービス①	お手伝いが必要なお客さまへの対応知識
10	ユニバーサルサービス② 電話対応①	お手伝いが必要なお客さまへの対応知識 電話対応の基本
11	電話対応② 文書作成	電話対応における、さまざまなケースの対応 社内文書と社外文書
12	接客マナー①	来客対応(名刺交換・上座と下座・紹介の順序)
13	接客マナー②	会食マナーと冠婚葬祭の基本
14	接客マナー③	金銭授受(現金・キャッシュレス決済・クレジットカード)・領収書記入
15	まとめ、定期試験対策/定期試験	定期試験

科目名 (英)	トレンドネイル I trend nails I	年次	2年	実務経験	担当	殿村雅子・鎌谷睦実
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	水曜日3・4限
講師紹介	殿村雅子: 木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属講師/本部認定講師歴17年目(常任本部認定講師歴1年) 他美容専門学校外部講師を勤めネイルサロンオーナー(2年)ネイリストとして活躍中 鎌谷睦実: 木下ユミメークアップ&ネイルアトリエ所属講師/本部認定講師歴10年目/ネイルサロンオーナー19年ネイリストとして活躍中					
目的 科目概要	ジェルネイルの基本を知識として身に付け、技術や知識の手順を学ぶ。同時にアートの仕方・グラデーション・デザインなども理解しながら受講してほしい。 ジェルネイルの基礎技術を習得し、必ずジェルネイル検定初級に合格出来るよう授業を行う。その為には、中間試験と期末試験を取り入れ技術面と知識に置いてしっかり勉強し、合格基準に持っていけるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ジェルネイル初級に合格できるデザインアートを勉強し身に付ける。 ジェルアートを覚えデザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	JNAテクニカルシステムベーシックジェルネイル			事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルネイルの基本を知識として身に付ける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】教材確認、道具の名称、使い方をデモンストレーションで解説。ジェルネイルに触れてみる。 ハンドを使用 【履修確認】小テスト2点
2	プレパレーションの重要性を学ぶ	【授業形態】講義・実習 【到達目標】プレパレーション～アプリケーショントレーニング。ナチュラルネイルのオーバーレイ、カラージェル1色塗り。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
3	ジェルネイルの基本の手順を覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニング カラージェル1色塗り 【履修確認】小テスト2点・課題点2点
4	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。相モデルトレーニング(タイムトライアル) 【履修確認】小テスト2点
5	ジェルネイル検定初級のアートレベルを上げる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ピーコックデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
6	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】ジェル検定初級内容 片手ケア・ジェルカラー赤・ピーコック 【履修確認】中間試験20点
8	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
9	ジェルネイル検定初級直前対策	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
10	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドラッグアート(マーブル・ピーコック)のデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
11	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドット・フラワーアートのデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
12	グラデーションの習得	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデーションのデモンストレーション。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
13	ジェルネイル検定初級直前確認	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。事前確認、仕込み。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
14	デザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】カラー・ラメを組み合わせたアートする。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】両手ジェルカラー、アート 【履修確認】期末試験50点

科目名	フォトシューティング	年次	2	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
(英)	photo shooting	時間数	60	有	開講区分	前期
学科	トータルビューティー科	単位	4		曜日・時間	木曜1・2限
講師紹介	メイク・ヘアセット・特殊メイクまで幅広く手がける。化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社の経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	撮影用メイクの技術とフォトジェニックな仕上がりを意識したメイクの表現力を習得することを目的とする。ライティングやカメラの特性を理解し、写真映えるメイクのテクニックを学ぶことで、撮影現場で即戦力となるスキルを身につける。モデルや被写体の魅力を最大限に引き出し、コンセプトに沿ったクリエイティブなビジュアルを作り上げる能力を養う。					
到達目標	フォトシューティングに適したベースメイク、ハイライト・シェーディングの使い方、カメラ映える色選びや質感コントロールを学ぶ。ライティングやカメラの角度によるメイクの見え方の違いを理解し、撮影コンセプトに合わせたメイクを実践。最終的には、フォトグラファーやスタイリストとの連携を意識しながら、プロフェッショナルな撮影メイクを完成できることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験 ■作品 ■提出課題					
教科書	世界コスプレ技術検定協会公式テキスト		事前事後 学習と その内容	クリエイティブな絵画や映画を視聴する。		
教材	メイク道具一式・iPad					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フォトシューティングの基礎	撮影メイクと通常メイクの違い、カメラ映える肌の作り、光と影の基本
2	顔立ちを引き立てるハイライト&シェーディング	骨格を強調するシェーディング技術立体感を出すハイライトの使い方、モノクロ写真とカラー写真での見え方の違い
3	骨格的な作品作り	骨格を強調する技術を使用した作品を作る
4	アイメイクのフォトシューティング技術	アイシャドウの濃淡とグラデーション、つけまつげ・ラインストーン・ホログラム・アイラインの強調方法、カメラ映える眉のデザイン
5	リップ&チークの表現力	表情を引き立てるリップメイクのテクニック、血色感をコントロールするチークの入れ方 モノクロ撮影とカラー撮影でのリップ・チークの工夫
6	中間試験対策	撮影を意識したフルメイク
7	中間試験	撮影を意識したフルメイクを撮影画像にて提出
8	トレンドフォトメイク研究	最新トレンドメイクの分析、SNS・雑誌・広告でのメイク表現の違い トレンドを取り入れたフォトメイク実践
9	テーマ別フォトメイク①(ナチュラル&ビューティー)	肌を美しく見せるメイクの工夫、ナチュラルメイクの撮影用アレンジ
10	テーマ別フォトメイク②(モード&アートメイク)	ファッション撮影向けのモードメイク アーティスティックなメイクの表現
11	ブランドメイクとフォトシューティング	ブランドごとのメイクの特徴を研究 海外コスメ・デパコスを活用したフォトメイク
12	シーン別フォトメイク(ブライダル・広告・ポートレート)	ウェディング撮影向けのメイク、商業フォトのメイクポイント ポートレート撮影のメイク調整
13	フォトシューティング実践①(モデルメイク&撮影)	実際のモデルにメイクを施し、撮影を行う、メイク後の写真チェックと修正ポイントの確認
14	フォトシューティング実践②(作品制作)	自由テーマでフォトメイクをデザイン 作品撮影&プレゼンテーション
15	期末試験	撮影用メイクの総合実技試験 自分でテーマを決め、モデルにメイクを施し撮影

科目名 (英)	トータルビューティ II Total Beauty II	年次	2	実務経験	担当	結木かな
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	木曜 3・4限
講師紹介	婚活系オンラインサロンのコミュニティマネージャーとして独立後、年間1,500名以上の女性をサポート。自己実現における外見の重要性に気付き、イメージコンサルタントへ転身。パーソナルカラー・骨格診断・メイクを軸に、マインドも含めた継続講座を主催。個人向けレッスンのほか、大手保険会社でのセミナー登壇や、大手結婚相談所・百貨店での講師、ファッションビルイベントでの診断・講師として活動。ファッション・美容を通して「自分らしい魅力を引き出す方法」を提案している。					
目的 科目概要	診断、トレンドやTPO別スタイル、様々なファッション・ビューティーブランドの特徴について学び、就職活動に結びつける。ファッション業界、美容業界での実務に活かせる提案力、スタイリング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	幅広いファッションセンスやスタイル、ヘアスタイル、メイク、ネイルとのトータルビューティの考え方を身につけ、ファッション業界、美容業界での実務に活かせる提案力、コミュニケーション力を磨くと共にファッション業界、美容業界への就職に活かすことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	別紙プリント					
特記事項	ipad持参					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	自己紹介・自己PR・トータルビューティ	・講師紹介 ・自己紹介・PRコラージュ				
2	診断の活かし方(顔タイプ・カラー)	・カラー、顔タイプの関連性、簡易診断 ・カラー、顔タイプを活かしたスタイリングについて				
3	診断の活かし方(骨格診断実習)	・骨格診断をマスターする ・骨格に合わせたコーディネート提案(診断+提案)				
4	診断とメイクとファッションとネイル	・各診断とメイク、ファッション、小物やネイルの関係性 ・コーディネート作成				
5	診断となりたい姿の関係性	・男顔メイクと女顔メイク ・なりたいイメージ別メイク				
6	ファッション業界・ビューティー業界のトレンド	・ファッション業界 ・ビューティー業界のトレンド				
7	中間試験	・筆記試験 ・トータルスタイリング 発表				
8	メンズファッション研究	・メンズファッション研究 ・好感度の高い外見について				
9	ファッション・ビューティー業界研究	・ファッションブランド研究(コレクション・リアルショップ・WEB・ファストファッション) ・ビューティー業界研究(デパコス・ドラッグストア・韓国)				
10	ファッション・ビューティー業界接遇練習	・店頭案内・試着案内練習 ・点数管理 ・商品在庫管理・骨格診断振り返り				
11	展示会 or ショップ実習	・展示会 or ショップ実習 予習研究				
12	展示会 or ショップ実習	・展示会 or ショップ実習				
13	今までの振り返り・トータルビューティ動画	・今までの復習・試験対策 ・トータルビューティ研究、テーマ決め、動画撮影				
14	期末試験(筆記・実技)	・筆記試験 ・試験の振り返り ・スタイリング提案、発表				
15	トータルビューティ動画編集・発表	トータルビューティ動画編集・発表				

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅡ skin counselingⅡ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	前期
講師紹介	国内外のエステティックサロンで経験を積み、スキンケアに対する知識を丁寧に指導する。一人ひとりの肌や体の状態には違いがあることを理解し、効果的な方法を実践・アドバイス出来るようになってほしい。					
目的 科目概要	目的:ボディ・フェイシャルの機械を使ったトリートメントを習得しお客様の要望に答える 概要:サクション、G5、低周波、ストーン、イオン導入、パターの知識と技術を学ぶ					
到達目標	お客様に合わせたボディ・フェイシャル機器を選択でき、効果的な施術ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書						
教材	プリント適宜配布		事前事後学習と その内容	事前にコマラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。		
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。 これまでのエステに関する資料も毎回持参すること。Ipad持参					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要 サクション	この授業の進め方、ボディトリートメントの種類と流れを説明 サクションの効果、禁忌事項、手順を理解する
2	G5	G5の効果、禁忌事項、ヘッドの種類、手順を理解する
3	低周波	低周波機器の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
4	ストーンセラピー	ストーンセラピーの効果、禁忌事項、手順を理解する
5	イオン導入 マッサージ	イオン導入の効果、禁忌事項、注意事項、導入液の種類、手順を理解する
6	バター パック	バターの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅡ skin care counselingⅡ	年次	2	実務経験	担当	小池 千絵
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	火曜/3・4限(※8W～15W)
講師紹介	エステティック講師として10年以上の経験と、エステティシャンとしての実務経験とサロン経営の実績を持った講師が、コスメマイスター検定に必要な知識と、現場でも役に立つ知識をわかりやすく講義する。					
目的 科目概要	目的:コスメマイスター検定資格取得のために必要な知識を習得する。 概要:化粧品や肌についての基礎知識を学ぶ。					
到達目標	・日本コスメティック協会コスメマイスター検定に合格することを目標とする。 ・学んだ知識を活用し、お客様とコミュニケーションが取れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書	日本コスメティック協会検定テキスト		事前事後 学習と その内容			
教材	プリント適宜配布/筆記用具持参					
特記事項	授業内容はメモを取ること。無断録画無断撮影禁止					
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>						
回数	授業テーマ		授業内容			
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8	科目概要説明 テキストP14～P41		化粧品の種類と役割			
9	テキストP42～P69		化粧品の種類と役割 化粧品の成分と安全性			
10	テキストP70～P97		化粧品の成分と安全性			
11	テキストP98～P125		化粧品の成分と安全性 皮膚と髪・爪の機能とケア			
12	テキストP126～P153		皮膚と髪・爪の機能とケア			
13	テキストP154～P181		皮膚と髪・爪の機能とケア エステティック、美容医療、アロマセラピー、サプリメント			
14	テキストP182～P209		エステティック、美容医療、アロマセラピー、サプリメント			
15	模擬試験とコスメマイスター検定試験		コスメマイスター検定試験			

回数	授業テーマ	授業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	科目概要説明 テキストP14～P41	化粧品の種類と役割
9	テキストP42～P69	化粧品の種類と役割 化粧品の成分と安全性
10	テキストP70～P97	化粧品の成分と安全性
11	テキストP98～P125	化粧品の成分と安全性 皮膚と髪・爪の機能とケア
12	テキストP126～P153	皮膚と髪・爪の機能とケア
13	テキストP154～P181	皮膚と髪・爪の機能とケア エステティック、美容医療、アロマセラピー、サプリメント
14	テキストP182～P209	エステティック、美容医療、アロマセラピー、サプリメント
15	模擬試験とコスメマイスター検定試験	コスメマイスター検定試験

科目名	メイクアップ総論Ⅲ General Make Up Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
(英)		時間数	60	有	開講区分	前期
学科	トータルビューティ科	単位	4		曜日・時間	金曜1・2限
講師紹介	化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会シルバー資格を取得する。					
到達目標	化粧品販売員検定シルバーの内容を理解し80点以上目指す。ビューティアドバイザーとしてのメイクテクニックを習得できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書	CAA化粧品販売員検定シルバー公式テキスト			事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	ipadは毎回使います。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	化粧品学(応用)1&トレンドカラー①国内ブランド	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分などを習得①国内ブランドメイクの特徴を理解しメイクを習得する
2	化粧品学(応用)2&トレンドカラー②韓国ブランド	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなどを習得②韓国ブランドの特徴を理解しメイクを習得する。
3	皮膚科学1&トレンドカラー③中国ブランド	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌などを習得③トレンドカラー③中国ブランドの特徴を理解しメイクで習得する。
4	皮膚科学2&トレンドカラー④外資系ブランド	スキントypes・肌のトラブルなどを習得④トレンドカラー④外資系ブランドの特徴を理解しメイクで習得する。
5	スキンケア・メイクアップカウンセリング①	カウンセリングシートを使用して悩みをヒヤリングし、適切にメイクアップをアドバイス実習する。
6	スキンケア・メイクアップカウンセリング②	カウンセリングシートを使用して悩みをヒヤリングし、適切にメイクアップをアドバイス実習する。
7	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験
8	パールトーンカラーメイク①	トーンを理解・パールトーンカラーメイクを実習する。
9	ビビットトーンカラーメイク②	トーンを理解・ビビットカラーメイクを実習する。
10	ディープカラーメイク③	トーンを理解・ディープカラーメイクを実習する。
11	類似配色メイク	類似配色の理解・類似配色メイクを実習する。
12	反対色メイク	反対色配色の理解・類似配色メイクを実習する。
13	モノトーンメイク	モノトーンのメイクを実習する。
14	定期試験対策	定期試験カラーメイク対策
15	定期試験	カラーメイク

科目名	トレンドリサーチⅡ	年次	2	実務経験		担当	生田 元慶
(英)	trend research Ⅱ	授業形態	演習				
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期	
		単位	4		曜日・時間	火曜・3・4限	
講師紹介	採用支援・SNS運用、キャスティングなどを中心に活動するマーケティングプロデューサー。モデル・インフルエンサー・タレントのキャスティング事業やSNSマーケティング支援を行う会社を営み、美容・アパレル・エンタメ領域を中心に企業のプロモーション企画を手がけている。						
目的 科目概要	「業界に求められるデジタルスキルを習得を目的とする演習形式の授業 各SNSの応用を学び、トレンドリサーチⅠで学んだデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーションをプログラムできるプログラミング力を学ぶ						
到達目標	インフルエンサーレベルでのマーケティング・撮影&動画編集スキルを身に付け、SNSをビジネスの場で活用できることを目標とする。						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 提出課題						
教科書	特定の教科書は使用せず、授業資料を配布する			事前事後 学習と その内容	SNS・トレンド情報を日常的に収集する習慣を身につける。 課題としてトレンド分析やSNS投稿の制作を行う。		
教材	iPad・スマートフォン SNSアプリ・動画編集アプリ						
特記事項	授業内で制作した作品は、学生本人のSNSアカウント等で活用することを推奨する。						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	SNSTrend分析① 美容・ファッション	美容・ファッション業界におけるSNSトレンドの理解。Instagram・TikTokのアルゴリズムとバズ投稿の構造を学ぶ。
2	SNSTrend分析② カフェ・お出かけ	カフェ・お出かけ系インフルエンサーの投稿分析。ロケーション投稿や映える写真・動画の構成を理解する。
3	ファッションSNSトレンド①	ファッション業界におけるSNS活用。コーディネート投稿やブランド発信の事例研究。
4	美容SNSトレンド②	美容・コスメ分野のSNSトレンド。レビュー投稿・ビフォーアフター・メイク動画の分析。
5	コンテンツ構造分析	バズ投稿の構造分析。構図・導入・編集・音源などSNSコンテンツの構造を理解する。
6	SNSコンテンツ制作演習	美容・ファッション・カフェなどのテーマでSNS投稿コンテンツを制作する。
7	中間テスト	SNS投稿のインサイト分析。自分の投稿データを分析し、改善案を発表する。
8	企業SNSマーケティング①	美容・アパレル企業のSNS戦略を学ぶ。ブランドアカウントの事例研究。
9	企業SNSマーケティング②	企業とインフルエンサーの関係。PR案件・タイアップ投稿の仕組みを理解する。
10	企業SNSコンテンツ制作	企業案件を想定したSNS投稿企画を制作する。
11	トレンド予測	次のトレンドをリサーチし、SNS企画を立案する。
12	SNS企画制作	トレンドを活用したSNS投稿企画の制作。
13	SNSコンテンツ制作	最終制作に向けたコンテンツ撮影・編集。
14	投稿分析・改善	投稿結果の分析と改善策の検討。
15	期末発表	最終SNS企画のプレゼンテーション。

科目名	セルフプロデュース I	年次	2	実務経験		担当	生田元慶
(英)	Self-produced I	授業形態	演習				
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	前期	
		単位	4		曜日・時間	金曜 1・2限	
講師紹介	採用支援・SNS運用、キャスティングなどを中心に活動するマーケティングプロデューサー。モデル・インフルエンサー・タレントのキャスティング事業やSNSマーケティング支援を行う会社を営み、美容・アパレル・エンタメ領域を中心に企業のプロモーション企画を手がけている。						
目的 科目概要	トレンドリサーチで学んだ各SNSの応用を学び、トレンドリサーチ I で学んだデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーション力を活かし、自身の魅力を効果的に発信する方法を実践形式で取得を目指す。						
到達目標	インフルエンサー、または企業広報としての発信技法を身につけ、企業からみて「即戦力」と判断をいただけるレベルを目標とする。						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品						
教科書	特定の教科書は使用せず、授業資料を配布する						
教材	iPad+スマートフォン SNSアプリ・動画編集アプリ			事前事後 学習と その内容			SNS・トレンド情報を日常的に収集する習慣を身につける。 課題としてトレンド分析やSNS投稿の制作を行う。
特記事項	授業内で制作した作品は、学生本人のSNSアカウント等で活用することを推奨する。						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ(仮)	授業内容(仮)
1	セルフプロデュースとは	SNS時代のセルフブランディングの重要性。自分の強みや個性を整理する。
2	SNSプロフィール設計	プロフィール・世界観・コンセプトの設計。
3	ファッションセルフブランディング	ファッションを活用した自己表現。コーディネート投稿の制作。
4	美容セルフブランディング	美容・コスメを活用したセルフプロデュース。
5	カフェ・ライフスタイル発信	お出かけ・カフェ投稿の作り方。
6	SNS撮影技術	スマートフォン撮影・構図・ライティング。
7	中間テスト	SNSアカウント分析。フォロワー層や投稿内容を振り返る。
8	セルフブランド戦略	SNS上のブランド設計。ターゲット・コンセプトを明確にする。
9	SNS投稿デザイン	投稿の統一感・フィードデザイン。
10	動画コンテンツ制作	リール・ショート動画制作。
11	セルフPR	自分の魅力を伝えるコンテンツ制作。
12	ブランドコンテンツ制作	自身のブランドを表現するSNS投稿制作。
13	最終制作	最終発表に向けたSNSコンテンツ制作。
14	投稿相談会	SNS運用の課題共有と改善アドバイス。
15	期末発表	セルフプロデュース企画の発表。

科目名 (英)	実習前教育 education for pre practical	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	前期
					曜日・時間	集中授業
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップへ向けて、業界研究・面接指導等を行い、実習の目的・目標を明確にする。					
到達目標	目的、目標を明確にし、実習・インターンシップに参加する準備ができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。 なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	実習・インターンシップとは	実習・インターンシップの概要を理解する。
2	実習生の役割と心構え1	実習ルールを確認し、スムーズに実習を送れるようにする。
3	実習生の役割と心構え2	接客業としての心構えとプロ意識を学び 専門職として必要な資質を
4	業界研究①	実習から就職への流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	就職の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	身だしなみ・マナー・言葉遣い1	社会人としての服装・清潔感の重要性 敬語や丁寧な話し方の習得
7	身だしなみ・マナー・言葉遣い2	笑顔とアイコンタクト ロールプレイ
8	中間試験	ここまでの活動を振り返る
9	エントリーシート・履歴書1	エントリーシート・履歴書を作成する
10	エントリーシート・履歴書2	エントリーシート・履歴書を完成させる
11	面接練習1	採用試験に向けて面接練習を行う
12	面接練習2	採用試験に向けて面接練習を行う
13	面接練習3	採用試験に向けて面接練習を行う
14	実習前の最終確認	実習の目標設定 所作・言葉遣いのチェック
15	振り返り・自己評価	実習前教育を振り返り、実習へ向けて自己評価を行う

科目名 (英)	現場実習 I field training	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
		授業形態	演習			
		時間数	90	有	開講区分	前期
学科	トータルビューティ科	単位	6		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担当が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められることを理解し、実習の目的・目標を明確にする。					
到達目標	実習の目的・意義を理解し、実習へ向けての目標設定をする。					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS(合格)、U(不合格)とする。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に付けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	現場実習先を理解する	オリエンテーションの内容を理解し業務を行う準備をする
2	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	実習面談	これまでの実習を振り返り、課題を明確にし今後の目的を再設定する
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	現場実習Ⅱ field training	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	120	有	開講区分	前期
		単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接客やお客様対応の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS(合格)、U(不合格)とする。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名 (英)	現場実習Ⅲ field training	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	120	有	開講区分	前期
		単位	8		曜日・時間	実習先のスケジュールによる
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を学ぶ					
到達目標	実習・インターンシップ先で求められる接遇やお客様対応の基礎を身に付ける					
評価方法	現場実習評価は実習報告書、実習報告面談の2要素で評価する。 評価はS(合格)、U(不合格)とする。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	iPad・筆記用具・クリアファイル					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	日々の実習内容を振り返る 1	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
2	日々の実習内容を振り返る 2	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
3	日々の実習内容を振り返る 3	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
4	日々の実習内容を振り返る 4	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
5	日々の実習内容を振り返る 5	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
6	日々の実習内容を振り返る 6	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
7	日々の実習内容を振り返る 7	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
8	日々の実習内容を振り返る 8	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
9	日々の実習内容を振り返る 9	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
10	日々の実習内容を振り返る 10	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
11	日々の実習内容を振り返る 11	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
12	日々の実習内容を振り返る 12	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
13	日々の実習内容を振り返る 13	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
14	日々の実習内容を振り返る 14	日々の実習を振り返り、自身の課題を明確にしていく
15	実習面談	1か月に1回の実習面談にて、実習の進捗・課題を振り返り目標の再設定を行う

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
(英)	Career Development Ⅳ	授業形態	講義			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2			曜日・時間
講師紹介	大学にて児童教育を専攻。卒業後は一般職として入社し、社会人経験とスキルを培って来ました。担任が社会人経験を通し、社会時美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	卒業や社会人生活に向けて自らの新たな目的目標を持てるようになる					
到達目標	①卒業に向けてや社会人としての準備が整えられる ②2年間を振り返り、目的目標を新たに意識付けられるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	後期目標設定	前期を振り返り、後期の目標設定。 就職活動の流れを含んだ後期のスケジュールを理解する。
2	社会人基礎力	社会人になる為の基礎を学ぶ。
3	グループディスカッション①	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
4	グループワーク②	グループワークを通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていくかを考える。
5	社会人基礎力	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
6	社会人基礎力	人前で報告する。
7	中間テスト	中間試験(1-6回目のまとめ)
8	社会人基礎力	5年後、10年後のビジョンについて考える
9	グループディスカッション①	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
10	グループワーク②	グループワークを通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていくかを考える。
11	社会人基礎力	社会人としてのマナーを身につける。(上座・下座)
12	社会人基礎力	社会人としてのマナーを身につける。(電話対応)
13	社会人基礎力	伝える力を学ぶ。
14	2年間の振り返り	これまでのおさらい、就職や卒業に向けて取り組むべきことの確認
15	定期試験	定期試験(8-14回目のまとめ)

科目名 (英)	トータルサロン I (学内コンテスト) Total saron I (In-campus contest)	年次	2	実務経験	担当	門脇 真由理
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科	トータルビューティ科	単位	2		曜日・時間	集中授業
講師紹介	MAC で6年間美容部員として勤務後、フリーのメイクアップアーティストとして、様々な現場を経験し授業に活かす。					
目的 科目概要	1年次で学んだ美容知識や技術を振り返り、集大成としてトータルビューティサロンをオープンし、自分自身の課題を見つけ技術や知識を向上させる					
到達目標	美容の職種で大事な、提案力や接客力を磨き、お客様に指名される美容のプロを目指すようになる。カウンセリング力やコミュニケーション力を養うロールプレイングにて、セルフプロデュース表現力を磨く					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 提出課題					
教科書						
教材	プリント適宜配布		事前事後 学習と その内容		事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	トータルビューティサロンとは	サロンを立ち上げるうえでの知識・技術の概要を学ぶ
2	サロンテーマ	学内にてサロンをオープンするにあたり、全体のテーマを決める
3	業界を学ぶ①	エステサロンを調べる
4	業界を学ぶ②	ネイルサロンを調べる
5	業界を学ぶ③	メイクトレンドを調べる
6	業界を学ぶ④	ファッショントレンドを調べる
7	中間試験	イメージシートの作成提出
8	実習①	各サロンチームを決める
9	実習②	サブテーマを決める
10	実習③	各サロンの準備をすすめる
11	実習④	各サロンの準備をすすめる
12	プレサロン	実際にサロンの流れプレオープン
13	実習③	課題を改善する (実践練習に取り組む)
14	実習④	課題を改善する (実践練習に取り組む)
15	定期試験	サロンオープン(お客様満足度にてフィードバック)評価

科目名 (英)	ブランド研究Ⅲ Brand ResearchⅢ	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	木曜 3限・4限
講師紹介	ELCジャパン(株)M.A.C.Iに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	タッチアップメイク、模倣メイクをおこなう。韓国のブランドを詳しく研究。					
到達目標	韓国トレンドコスメやアイテムを調べ、詳しく知ることができる。タッチアップメイクを学び、実務に活かすことができる。百貨店に行き、目標を定めることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書			事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。		
教材	メイクBOX、iPad					
特記事項	ipadを使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケアアイテム構造を知る	スキンケアアイテムの構造を学ぶ
2	スキンケアブランド美容部員メイク	相モデルで美容部員メイクを施術
3	化粧水、乳液、美容液の成分、機能性成分	化粧品成分を知る
4	韓国コスメで相モデルメイク	相モデルで施術
5	国産ブランドスキンケア調べ	国産ブランドコスメに配合されている成分を調べる
6	デパコスとダイソーコスメで半々メイク	違いを学ぶ
7	中間試験	振り返りし、相モデルにて実技試験を実施
8	おでかけ授業 準備	百貨店に行く前の調べ学習
9	おでかけ授業	百貨店に行く
10	おでかけ授業 フィードバック	グループワークでフィードバック
11	タッチアップメイク	デモンストレーションをし、タッチアップメイクがどんなのか体験する
12	タッチアップメイク	カウンセリングシート記入し、店頭で行う内容でメイク
13	タッチアップメイク	定期試験に向けて練習
14	定期試験1	2つのグループにわけて定期試験をおこなう
15	定期試験2	2つのグループにわけて定期試験をおこなう

科目名 (英)	トータルビューティⅢ Total Beauty Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	木曜1限・2限/金曜1限・2限(1W~7W)
講師紹介	国内外のエステティックサロンで勤務経験を積み、フェイシャルトリートメントの知識と技術を分かりやすく教える。普段のセルフトリートメントにもその知識を活かしてほしい。					
目的 科目概要	目的:フェイシャルトリートメント全般を理解し効果的な方法を選択できる。 概要:カウンセリング、ディーブクレンジング、機器トリートメント、パックを行うための理論と技術を学ぶ。					
到達目標	お客様の肌の状態を正確に観察し、目的に合ったトリートメント内容を組み立てることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書						
教材	プリント適宜配布	事前事後 学習と その内容		事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。		
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 クレンジング、マッサージの復習 ゴマージュ	この授業の進め方 ゴマージュの効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
2	ブラシクレンジング バター	ブラシクレンジングの効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する バターの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
3	酵素 イオン導入	酵素の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する イオン導入の効果、禁忌事項、注意事項、導入液の種類、手順を理解する
4	スキンチェック 吸引 パック	モデルの肌の状態を正しく見分ける 吸引の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
5	カウンセリング パック	モデルの肌トラブルを改善するトリートメントプランを考える パックを均一に塗布し正確に除去する
6	カウンセリングと施術	モデルのカウンセリングをし、効果的な施術を行う
7	中間試験	1~6回までの授業の理解度を確認する
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	トータルビューティⅢ Total Beauty Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	こまいみゆ
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	金曜 1・2限(8W~15W)
講師紹介	株式会社ワールドへ入社後、約10年以上アパレル販売員として活躍し約36,000人以上のファッションコーディネートを担当。現在はイメージコンサルタントとしてイメージコンサルティングサロンを経営4年目。年間400名以上、総数2,000名以上のパーソナルカラー診断、骨格診断、メイクレッスン、ショッピング同行など老若男女問わず実施。また大手結婚相談所会員向けのレッスンも担当している。					
目的 科目概要	秋冬のトレンドやTPO別スタイル、様々なファッションブランドの特徴について学ぶ。 ファッション業界、美容業界での実務に活かせるスタイリング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	ファッションのトレンドやTPO別スタイル、様々なファッションブランドの特徴について学び、ファッション業界、美容業界への就職に役立てる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書			事前事後 学習と その内容	出題した課題を自分で深め、成果物として提出してもらいます。		
教材						
特記事項	iPad持参					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	オリエンテーション	・自己紹介 ・授業概要 ファッション業界の職種/小売業について ・これからのファッション、美容業界について
9	ブランド分析①(国内ブランド)	・コンセプト・ターゲット分析
10	ブランド分析②(海外ブランド)	・ラグジュアリー・ファストファッション比較
11	世界観スタイリング提案	・世界観の伝え方
12	卒業制作:総合課題制作	・ペルソナ設定 ・トータルスタイリング提案
13	今までの振り返り	・今までの復習 ・試験対策
14	期末試験	・筆記試験 ・試験の振り返り ・トータルビューティ研究発表
15	卒業制作:世界観プロデュース	・ペルソナ設定に合うファッション発表

科目名 (英)	トータルビューティⅢ Total beauty Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	藍智美
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2		曜日・時間	水曜3限
講師紹介	フィットネスインストラクター、パーソナルトレーナーとしての経験を積み、ヨガ、ピラティス等の講師育成、フィットネスプログラム開発に取り組む教員が、現代社会においてウェルビーイングを高める授業を行う。					
目的 科目概要	学生生活はもちろん、卒業後も各自にあったヨガに取り組めるよう学ぶ。ヨガは体幹を鍛え、基礎体力の向上や心身ともにリフレッシュができるため、学習効率も上がることが期待できる。実技がメインで継続することで心身の変化を得られるので、積極的に授業に臨んでほしい。					
到達目標	授業を通して、心と身体のセルフコントロールを身につける。身体操作やマインドフルネスなど、自身に気づき・整え・心身の向上を習得。呼吸や瞑想で、集中力をつけ穏やかに活力に満ちた気持ちのコントロールを高める。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容			
教材	Teamsにて随時共有					
特記事項	動きやすい服装(開脚や脚を上げることを妨げない)で受講。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業を通しての目的、スケジュールを理解する。
2	アライメントチェック	正しい姿勢を理解し、自分の現在の金バランスを評価する。
3	マインドフルネス(瞑想)	マインドフルネスのプラクティスを生活に応用できる。
4	足裏セラピー	足部のメンテナンスエクササイズを習得する。
5	呼吸法	正しい呼吸とは何かを理解し、実践する。
6	骨盤の動き	骨盤の働き、解剖学を理解し日常に応用できる。
7	背骨の動き	背骨の働き、解剖学を理解し日常に応用できる。
8	今までの授業の振り返り、中間テスト	今までの学習がアウトプットできるようになっているか評価する。
9	ピラティスエクササイズ	ピラティスの原則を理解し、実践する。
10	自律神経	自律神経の役割を知り、自身の生活バランスを把握し改善を提案する。
11	シンギングボウル	音の振動によるリラクゼーションを理解し、体験する。
12	東洋医学 陰陽と食事	陰陽の性質を理解し、生活に取り入れ選択することができる。
13	アロマとエクササイズ	アロマを取り入れエクササイズを体験する。
14	フェイスエクササイズ	表情筋の解剖学を理解し、エクササイズを実践する。
15	総まとめ 定期試験	習得できた内容を確認し深める。

科目名 (英)	トレンドネイルⅡ Trend nailⅡ	年次	2年	実務経験	担当	殿村雅子・鎌谷睦実
		授業形態	演習			
学科	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	火曜日3・4限
講師紹介	殿村雅子：木下ユミメイクアップ&ネイルアトリエ所属講師/本部認定講師歴17年目（常任本部認定講師歴1年） 他美容専門学校外部講師を勤めネイルサロンオーナー（2年）ネリストとして活躍中 鎌谷睦実：木下ユミメイクアップ&ネイルアトリエ所属講師/本部認定講師歴10年目/ネイルサロンオーナー19年ネリストとして活躍中					
目的 科目概要	これまで学んだ技術を応用させ、ファッション性の高いネイルを学ぶ					
到達目標	ファッションやメイクのテストと合わせ、デザイン性のあるジェルネイルができるようになる。トータルコーディネイトとしての完成度を上げる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験 ■作品 ■提出課題					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布					事前事後 学習と その内容
教材	ケアカラー道具、アート道具、ジェル用具、ペーパー、アルミホイル、iPad					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧に取る事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルアート復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ラメグラデーション、カラーグラデーションの復習。相モデル 【履修確認】小テスト2点
2	ジェルアートを覚える①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。フレンチ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
3	ジェルアートを覚える②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。縦グラデ、アンギュラーブラシを使ったアート。チップトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
4	ジェルアートを覚える③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。レース、アニマル柄（ヒョウ、セブラ）など柄物。チップトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
5	トレンドアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】オーロラネイル、ミラーネイル。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点（セッティング）
6	トレンドアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】マグネットネイル（様々な柄の入れ方）デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点（仕上げ）
7	トレンドアート③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3Dアート（お花、葉っぱ） 【履修確認】小テスト2点（仕上げ） + 課題点 2点
8	中間テスト	【授業形態】講義・実習 【到達目標】中間テスト アートチップ 【履修確認】中間試験20点
9	トレンドアート④	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3Dアート（動物など） 【履修確認】小テスト2点
10	ファッションイメージ分類・コラージュ①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ファッションイメージ8分類のなかから2種コラージュを作成し、それに合ったネイルチップ作成 【履修確認】小テスト2点
11	ファッションイメージ分類・コラージュ②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ファッションイメージ8分類のなかから2種コラージュを作成し、それに合ったネイルチップ作成 【履修確認】小テスト2点 + 課題点2点
12	セルフコーディネート Natiful①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作成 【履修確認】小テスト2点
13	セルフコーディネート Natiful②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作成 【履修確認】小テスト2点
14	セルフコーディネート Natiful③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作成 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】アートチップ 【履修確認】期末試験50点

科目名	メイクアップ総論Ⅳ General Make Up Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	高岸
		授業形態	演習			
(英)		時間数	60	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティ科	単位	4		曜日・時間	火曜1限・2限
講師紹介	化粧品メーカーのインストラクター、美容スクール講師を経て30歳で独立。以降、サロンワークや撮影、ショーなどの現場で活躍。クリエイター系の株式会社経営やコスプレ関連事業にも携わり、国内外で活動の幅を広げている。					
目的 科目概要	1920年代から2000年代までのメイクアップとファッションを10年刻みで学び、各時代の社会的背景やトレンドを理解する。さらに実技を通じて、各年代を再現できるスキルを身につける。					
到達目標	年代別のメイクやファッション、背景を学び技術に活かす事ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書		事前事後 学習と その内容	いろいろなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。			
教材	メイク道具一式					
特記事項	ipadは毎回使います。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	1920年代: モダンガールとジャズエイジ	・細い眉、ポプヘア、ダークリップ ・アールデコ文化と女性解放の影響
2	1930年代: ハリウッド黄金期の美	・丸みのある眉、細かなウェーブヘア ・映画女優に見るグラマラスな美の誕生
3	1940年代: 戦時下の女性とメイク	・赤リップ必須、シンプルな目元 ・女性の社会進出と強さの象徴
4	1950年代: マリリン・モンローとエレガンス	・キャットライン、ふんわりヘア ・アメリカン・ドリームとフェミニンな理想像
5	1960年代: ツィギーとモッズカルチャー	・極細の下まつ毛ライン、大胆なアイシャドウ ・若者文化とサイケデリックファッション
6	中間試験対策(1920～60年代の再現メイク実技)	・テーマを抽選し、各自で年代を再現
7	中間試験(1920～60年代の再現メイク実技)	・テーマを抽選し、各自で年代を再現
8	1970年代: ヒッピーからディスコへ	・ナチュラル肌+ブラウンメイク、グラムロックの派手さも出現
9	1980年代: バブルとパワーメイク	・太眉、鮮やかなアイカラー、ボリュームヘア ・経済成長と女性の社会的パワーを象徴
10	1990年代: ミニマリズムとグランジ	・ヌーディリップ、スモーキーアイ、細眉 ・スーパーモデル文化、カジュアルファッション
11	2000年代: ギャル文化とセレブリティ	・日焼け肌、囲み目メイク、ラメリップ ・日本の渋谷系・アメリカのセレブ文化の拡散
12	近代トレンドメイク①	2010年代 トレンド
13	近代トレンドメイク②	2020年代 トレンド
14	定期試験対策	・テーマを抽選し、各自で年代を再現
15	定期試験	・テーマを抽選し、各自で年代を再現

科目名	スキンケアカウンセリングⅢ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
(英)	skin care counselingⅢ	時間数	60	有	開講区分	後期
学科	トータルビューティ科	単位	4		曜日・時間	金曜 3限・4限
講師紹介	国内外のエステティックサロンで経験を積み、トータルビューティを丁寧に分かりやすく教える。これまでの知識を活かしボディ・フェイシャルの総仕上げを行い結果を出せるようになってほしい。					
目的 科目概要	目的:ボディ&フェイシャルトラブルに対するケア方法を学ぶ。 概要:ボディトリートメント、フェイシャルトリートメントで結果を出すための施術組み立て方法を学ぶ。					
到達目標	・トラブル別のトリートメントの組み立てができる ・カウンセリングで肌の状態を見極め、ホームケアアドバイスができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験					
教科書						
教材	プリント適宜配布	事前事後 学習と その内容	事前にコマシラパスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。			
特記事項	配布資料はファイルにまとめて毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 ボディ機器 ボディマッサージ	この授業の進め方、ボディトリートメントの種類と流れを説明 ボディ機器を選択する(練習したいもの) 下肢後面のマッサージの技術の向上を図る
2	ボディ機器 ボディマッサージ	モデルに合わせてボディ機器を選択する 下肢前面のマッサージの技術の向上を図る
3	ボディ機器 ボディマッサージ	指定されたボディ機器を効果的に行う 腰背部のマッサージの仕方を覚える
4	ゴマージュ ボディマッサージ	ゴマージュの技術の向上を図る マッサージの技術の向上を図る
5	ボディマッサージ ボディパック	マッサージの技術の向上を図る パックの効果、手順を理解し、均一に塗布し正確に除去する
6	選択トリートメント	モデルに適したトリートメントを行う
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	クレンジング、スキンチェック ディープクレンジング、機器トリートメント(選択)	モデルの肌トラブルを観察し正確に図示する モデルに適したディープクレンジング、機器トリートメントを選択し効果的な施術を行う
9	クレンジング、スキンチェック ディープクレンジング、機器トリートメント(選択)	モデルの肌トラブルを観察し正確に図示する モデルに適したディープクレンジング、機器トリートメントを選択し効果的な施術を行う
10	スキンチェック、ディープクレンジング 機器トリートメント、マッサージ	モデルの肌トラブルを観察し正確に図示する ディープクレンジング、機器トリートメント、マッサージを効果的に行う
11	リフティングマッサージ パック	リフティングマッサージの効果、手順を理解する モデルに適したパックを行う
12	リフティングマッサージ パック	リフティングマッサージの効果、手順を理解する モデルに適したパックを行う
13	選択トリートメント (ボディ&フェイシャル)	モデル要望を聞き、効果的な施術を行う
14	選択トリートメント (ボディ&フェイシャル)	モデル要望を聞き、効果的な施術を行う
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する